

## CONTENTS



- 2/3 環境を破壊する杭式栈橋工法
- 意義が高まる辺野古アセス第4回公判
- 4/5 4月25日沖縄県民大会
- 東京・大阪・京都 連帯行動
- 6/7 生物多様性学習会 in 東京
- 祝☆生物多様性の日パレード
- 8 総会報告/アブダビ派遣カンパのお願い

佐渡のトキを手厚く保護しているのに比べ、沖縄辺野古のジュゴンをなぜにこうも保護しようとならないのか？日本政府の差別行為に怒りをもって抗議したい。そして、IUCN勧告通りにジュゴン保護に取り組むよう政府に訴える署名運動の成功を勝ち取りたい。また、国際ジュゴン年であることを広く国民に周知させ、10月COP10（名古屋）においてジュゴン保護が重要課題となるよう国際的連帯を強化するよう進めたい。

## 「ジュゴン保護と辺野古」 SDCC 共同代表 海勢頭 豊

沖縄県民は今一丸となって普天間基地県内移設反対に立ち上がり、日米政府に対し9万人の怒りのこぶしを突き上げ、4・25県民大会を成功させた。通常の民主主義国家なら国民の民意を受けて政治的決断を行うはずであるが、なぜか沖縄や徳之島の民意を無視した上で、普天間基地移設問題を解決するしかありませんと鳩山首相自ら言明する事態に陥ってしまっている。これは明らかに琉球差別だと言えはするのだが？どこか変な話である。わざわざ鳩山首相自ら「抑止力」という言葉を口にするのはなぜか？また、米国政府が「現行案が最善であり、それ以外の案は駄目だ」と言っているにもかかわらず、辺野古の海上にくい打ち栈橋方式で滑走路を造る案を提示するなど、あえてジュゴン保護など念頭にないような、言ってみれば米国があきれ返るようなことをまじめに取り上げて見せているのはなぜか？そして「そのようなことをご理解いただきたい」と、沖縄県民や徳之島住民の総反発にあいながらも、お願いして努力する姿勢をあえて見せていることをどう理解すべきなのか？

しかし、それらの効果があって、連日マスコミに普天間基地移設問題が報道されない日はないようになった。今や日米安保や日米軍事同盟の在り方が全国民に問題を提起しつつある。そこでなお更のこと、われわれSDCCはジュゴンの歴史的な重要性を世界に訴えねばならないと思う。

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>



9万人が集まった4・25沖縄県民大会のオープニングで演舞を披露する中高生(4面)

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)



会場から引き上げる大会参加者。駐車場に使われた元米軍読谷補助飛行場は車で埋め尽くされた(4面)

情勢

# 環境を破壊する杭式棧橋式工法



鳩山首相が 5 月 4 日に沖縄で「抑止力の観点から普天間基地の県内移設」を明言しました。普天間基地の海兵隊が日本の安全を守る抑止力なのでしょうか。海兵隊はイラクやアフガニスタンに出撃している攻撃部隊です。かえって、テロから狙われる危険を伴うのではないのでしょうか。日本の安全を守る最大の抑止力は軍備ではなく、平和外交だと思います。

鳩山内閣が検討している普天間基地の移設案は杭式棧橋工法と、徳之島移設案だといわれています。危険の分散と、環境への配慮がウリのようです。杭式棧橋工法は環境に配慮しているのでしょうか。2001年から02年にかけて防衛庁(当時)が検討したリーフ上での基地建設の場合、埋め立てより杭式棧橋工法がサンゴや藻場に影響を与える面積が少なかったことを理由にしているにすぎません。今回検討されている案は、1800メートルの滑走路をキャンプシュワブ陸上に800メートル、西側の海上に1000メートル突き出るものです。滑走路の西端が辺野古漁港の正面(テント村)にるので、住民への騒音被害が確実に大きくなります。

また、キャンプシュワブ沿岸域は良好な海草藻場があり、環境省や防衛省の調査でもジュゴンの糞やはみ跡が発見されています。この沿岸域に数千本の杭を打ち込むことは海草藻場やサンゴを破壊するとともに、滑走路による光の遮断や海流の変化で被害がさらに拡大します。

環境に配慮しているといわれる杭式棧橋工法が、なぜ採用されなかったのでしょうか。当時の議事録(2002年7月29日)では、台風の関係や点検管理の困難さ、数本の杭の破損でも運行できなくなるからだと言っています。建設費も埋め立ての倍以上が見積もられています。



現行案と杭式棧橋案(読売新聞 4/30)

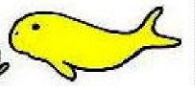


10月に生物多様性条約第10回締約国会議が名古屋で開催されます。その議長国・日本政府が、ジュゴンをはじめ生物多様性の宝庫・沖縄の自然を破壊する基地建設を強行することなど許されるはずありません。



報告

## 意義が高まる辺野古アセス第4回公判



那覇地方裁判所前(4/28)

4月28日那覇地裁で辺野古アセスやり直しを求める第4回公判が行われました。裁判長が人事異動で酒井判事に変わりました。

原告から損害賠償1万円の根拠の説明と、準備書公告縦覧後も行われている追加調査の根拠や予算について釈明を求めました。損害賠償の根拠として、沖縄防衛局が方法書公告縦覧後の08年2月に「方法書の追加」、3月に「追加修正版」を提出、準備書でも方法書には記載していない重要な事実を追加するなど、原告の意見陳述権を奪った事実を陳述しました。

また、鳩山内閣が普天間代替施設の現行案に代わる移設案を検討している中で、現行案の評価書の提出について見解を質しました。5月末に鳩山内閣が県内移設先を決定する局面で、辺野古アセス裁判の意義はますます高まっています。この裁判はアメリカ連邦裁判所でのジュゴン訴訟にも連動しています。次回公判は7月14日午前11時。

# 報告 4月25日沖縄県民大会

## ☆ 島ぐるみの決起 ☆

「米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と、移設に反対し、国外・県外移設を求める県民大会」が午後3時から読谷村運動場で始まりました。司会は、読谷高校・川口明里さん。

舞台正面前には、辺野古住民と与勝半島住民が占める。会場には、お年寄りや子どもまで黄色のTシャツや帽子、リボンで参加。各自治体の実行委員会旗もたなびく。100人を超すひな壇前列は、共同代表や知事、関係市長、県議会議員らが並ぶ。すべての自治体首長(代理含む)も参加。文字通り島ぐるみの闘いです。

主催者あいさつに続いて、仲井真知事が青色のかりゆしで登場。仕方なく参加した雰囲気がありあり。一方、伊波宜野湾市長、稲嶺名護市長、島袋うるま市長、漁民代表は「国民の民主主義を、県民の人権を取り戻す闘い」(稲嶺)などと気合が入った発言。最後の普天間高校生は「基地問題を国民が自分の問題として考えてほしい」と全国民に訴えました。

実行委員会から、参加者が九万人(渋滞で参加できなかった一万人含む)、会場カンパが五百万円と発表。ガンバロウで集会を終えました。集会后も会場に入る人波が続き、那覇市内では参加できなかった商店街の人々も黄色いリボンを着けて訴えました。



### 参加者より



#### 強くて深い思いを知った (首都圏 宮城 韶子)

会場には若者や子供も多かったが、足の悪いお年寄りや車椅子の方々も多く、弱い体に鞭打ってここまで来なくても…と内心思ったりしたが、あるお年よりは「人が足りない」と悔しいから、ウチナンチュとして恥ずかしいから」と方言交じりで参加した理由を話してくれた。また、「親の世代が復帰運動で頑張っていたので、今度は自分達が基地を無くすために頑張らないと…」と署名しながら話してくれた人が複数いて県民大会に参加した人々の強くて深い思いを知ることができた。

署名活動で多くの人と、ほんの少しの時間ではあるが話合ったことで知ることも反省することも多々あったが、感謝の言葉などでこれから先の長い運動のエネルギーの補充に繋がったと思う。貴重な体験だった。

#### 日本が民主主義の国であるなら (首都圏 小西 祐伸)

4月25日、私は初めて沖縄の県民大会に参加しました。

報道でご存知かも知れませんが、9万人のひとが基地の反対を思いに集まりました。

「何だ、たった9万か」と、思う方もいらっしゃるかも知れません。しかし、人口が130万の沖縄では非常に大きい数字だと思います。仮に、人口1300万人の東京都では90万人が、1億3000万人の日本全体では900万人が同じ思いを胸に集まった事と同じです。また、読谷の会場へのアクセスは非常に悪く、車や徒歩、自転車でしか行く事が出来ません。

当日は、交通の不便や渋滞から参加を見合わせた方、仕事や用事でやむを得ず出席を断念された方も相当いらっしゃると思います。これだけの民意がありながら、仮に沖縄に更なる基地が作られる事があるならば、日本は民主主義の国とは思えません。

#### 県民の意思は尊重されないのか(沖縄 仲村 幸子)

私も沖縄の意思を示す1人になりたくて参加しました。遠くて参加できない人もいるんだろうなと思いながら参加しました。SDCCとして署名集めをすると、署名させてくださいと声をかけてくれる人が多かったことが印象的でした。県民大会、大成功だった、十分に沖縄の意思を示せたと思います。しかし5/4鳩山総理が来沖し、とても啞然、がっかり、怒りいろいろな気持ちが湧いてきました。県民大会は何だったのだろう。数十年も前から反対運動をして9万人集まって基地NOの意思を示しても何で。日本は民主主義の国のはずなのに、沖縄の県民の意思は尊重されないのか。沖縄はこれ以上どのように基地NOを示していけば意思が伝わるのか。このことを考えるたびに県民大会の風景がよみがえります。鳩山総理、基地のアメリカ移設諦めないでほしいです。お願いします。



## 沖縄県民大会に連帯して

☆東京

4月25日(日)、沖縄県民大会と同じ日時に東京集会が永田町の社会文化会館ホールで行われました。首都圏から4人が黄色のリボンを付けて参加。WWFジャパンからも4人の方が参加され、署名活動にご協力いただきました。

午後3時に開始した集会は、主催者発表によると1000人が参加。会場に入らずに溢れていました。沖縄からの訴えや、連帯あいさつなどあり、途中で県民大会会場からの生中継が流され、会場は盛り上りました。

集会終了後、ジュゴンバルーンを先頭に、シュプレヒコールを上げながら首相官邸前を通り、日比谷公園までデモ行進しました。

さらに、同日夜、明治公園で行われたキャンドルで人文字をつくろう集会に全員で参加。1250人のキャンドルでN O BASE OKINAWAの文字を浮かび上がらせました。上空からの映像を見て感動しました。ジュゴンの棲む海を壊さないでという祈りです。(首都圏 矢敷 克子)



ジュゴンバルーン先頭にデモ行進(4/25 東京)

☆大阪・京都

県民大会と同じ25日に、大阪と京都で連帯行動がありました。沖縄の人もがんばっているんだから、私たちも駆けもちで大変だけど、沖縄の人達のことを考えれば...と思い行ってきました!

大阪はお昼前から開始。暖かい日であったため、たくさんの方がお散歩がてら公園に来ていたので、そこを逃さず署名をお願いしました。毎日のように普天間基地問題は報道されていたのでご存知の方も多く、おおむね好意的に署名をしていただきました。

お昼からは京都へ移動。三条河川敷でイベントがあり、私たちはジュゴン折り紙を披露。何人かの方が一緒に折り紙を折ってくれました。お茶と一緒にサーターアンダーギーも振舞われ楽しいイベントでした。PM5時からはいよいよ集会。エイサーや歌などでなごやかにスタート。決起したあと、河川敷からウォークの始まりです。四条河原町を通り、最終地点は八坂神社です。京都のメインストリートを通るので注目度は満点でした。ウォークの途中、バス停の「移設しました」の張り紙をみて「基地のことや!」という声が上がリ、笑みがこぼれていました。朝から夜まで1日かかりのイベントでしたが、達成感の残る1日でした。(上田 千鶴)



橋の上からも注目されました(4/25 京都三条河原)



バス停の張り紙

## ☆国際ジュゴン年にむけた三つのとりくみ



2010年国際ジュゴン年。SDCCは三つの国際的な取組みを展開しています。

まず一つ目は、WWF ジャパンと協力した「ジュゴンの絵・国際コンクール」。イラストを世界各地から募集し(締め切りは7月31日)、WWF ジャパンのウェブで紹介していきます。絶滅に瀕するジュゴンについて、多くの人に関心を持ってもらうための重要な取組みです。

2つ目は「ジュゴンの民話／お話」の取組み。ジュゴンは「絶滅危惧種」として強調されがちですが、世界各地で歴史的にも文化的にも重要な意味や価値を持った「生き物」です。そしてそれは、「民話／お話」というかたちで伝えられています。世界のジュゴン生息地からジュゴンの「民話／お話」を SDCC のウェブ上で集め(日本語と英語)、共有することによって、人間と密接に共生するジュゴンの重要性を再認識できるのではないかと思います。世界でも稀なこの取組みは、この5月に始まります。

3つ目は、今年の10月4日～6日に、アラブ首長国連邦の首都アブダビで開かれるボン条約(CMS)の「ジュゴン保護覚書」の署名国会議への参加です。日本政府が参加を渋るなか、SDCC がどれだけ日本におけるジュゴン保護の現状と課題を伝えられるか。重要な役割です。

SDCC は2008年の IUCN 会議の後、国連環境計画(UNEP)とボン条約(CMS)と連絡をとりながら活動を展開してきました。UNEP/CMS のジュゴン担当者／研究者であるドナ・クワンさんをはじめとするスタッフの人たちも期待を寄せています。「基地ではなく、ジュゴン保護区を」というスローガンのもと、SDCC が沖縄のジュゴン保護に取り組むことにより、世界のジュゴン保護の動きに大きな力を与えることができると思います。(吉川秀樹)

COP10 〇〇〇

# 2010アースデイin東京代々木公園

恒例参加のアースデイが今年は4/17・18の土日に行われました。

SDCC 総会の日程もアースデイに合わせて、沖縄と大阪からも上京し、去年に引き続き大集合で楽しいイベントになりました♪そして今年が目玉は2頭のジュゴンちゃん！W ジュゴンの登場で子供はもちろん大人からも大人気。月桃の花歌舞団の皆さんも2日目に助っ人登場して下さり華やかさが増しました。また2010年ジュゴン年記念缶バッジを作って頂いた WWF ジャパンの方も加わって一緒にジュゴン年をアピール！ジュゴン折り紙とともにシールもちびっ子に大人気で「完配」となりました。しかし4月中旬だというのに前夜には雪が降り、寒い寒いスタートでした。署名をして下さる手もかじかんでいて字が書けないほど・・・でも10時頃には雨も上がり天候も回復、翌日は晴天となり初日の分も挽回！署名も販売も去年を上回る事ができました。「基地ではなくジュゴン保護区を！」2日間で集まった署名は1,930筆。ご賛同頂きました皆様ありがとうございました。まさに老若男女、多種多様な感性を持った人が集まるアースデイ、初めてジュゴンを知る人も大勢いたはず。～思いよ届け～ジュゴン折り紙が皆なのお家に飾られているかしら？（首都圏 小平裕美）



## 生物多様性EXPO2010に出展しました

3月20,21日、大阪国際会議場グランキューブで開催された、生物多様性EXPO2010 in 大阪（環境省主催）にブースを出しました。生物多様性の大切さについてや、10月に名古屋で開催される生物多様性条約国会議のことを、関西の皆さんにもっと知ってもらおうという企画です。会場にはNGOや企業、自治体などの環境ブースがたくさん並び、2日間で1万6000人以上の入場者がありました。

SDCCのブースには「基地ではなくジュゴン保護を」のニューバナーと写真やイラストをいっぱい貼りま

した。署名の呼びかけに、皆さん快く応じてくださり、2日間で1259筆集まりました。スタッフ数名でよくがんばりましたよ。子どもたちに「ジュゴンを応援するメッセージを書いてね」と呼びかけると、たくさんのメッセージカードが集まりました。たくさんあるブースの中でもかなり人気の高いブースだったと思います。大浦湾の生物多様性の豊かさと、それを壊す基地計画について、多くの人に知ってもらえたイベントでした。—山根富貴子—



## 5/22祝☆生物多様性の日パレード 参加者募集中ー！

5月22日は生物多様性の日です。この日に10月名古屋で開催される生物多様性条約の会議に向けて大切なメッセージを発信しよう！と『祝☆生物多様性の日パレード』を開催します。なんと、大阪のメインストリート御堂筋を歩きます！海の恵み、森の恵み、自然の恵み、たくさんの生命のつながりのなかで人も生かされている。人も自然の一部。それを忘れたかのように傲慢にふるまう人間が様々な問題を引き起こしている。私たちは変わらなくちゃ！

SDCC（関西）は実行委員会に参加して、一緒にパレードを成功させようと取り組んでいます。環境団体や脱原発、コミュニティ作りに取り組むグループ、いろんな思いを持った仲間が集まっています。SDCCは「2010年は国際ジュゴン年」「基地ではなく保護区を」とアピールします。鳩山政権が迷走を続ける中、みなさあ～ん、一緒に御堂筋を歩いて、楽しく、そしてしっかりとアピールしましょう！着ぐるみジュゴンも一緒に歩くよ～。ご参加をお待ちしています！

報告

# 生物多様性学習会in 東京

10月に名古屋で開催されるCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)に向けて、CBD市民ネット運営委員の原野好正さんをお招きして学習会を開催しました。

まずはじめにSDCCからパワーポイントでの活動報告と普天間問題について資料をもとに報告しました。続いて原野さんより生物多様性についてお話を聞きました。生物多様性条約とは「地球に生きるいのちの条約」「生物多様性それはいのち」「生物多様性それはわたしたちの暮らし」「最も開かれた条約」などわかりやすいキャッチフレーズのお話でした。

しかしこのように私たちの生活に密着した条約なのに、G8の中で米国だけが批准していないと聞いてびっくりしました。「超大国」?の名を欲しいままにしている米国こそ批准しなくてはいけないと思いました。私たち人間が、他の動物・植物などこの地球に共生していくために非常に重要な条約であり、COP10であることがわかりました。今年、IUCN大会で決議された「国際ジュゴン年」でもあります。COP10にむけて「基地ではなくジュゴンの保護区を」を広げていきたい! (三村昭彦)



多様性 EXPO のブースで書いてもらった  
ジュゴンメッシュジカード



ホームにたたずみジュゴンアピール

## ジュゴンでトレイン Pt.2!

4月29日 大阪環状線を一周する、第2回「ジュゴンでトレイン!」をしました。スタートは大阪駅前陸橋上。とってもいい天気。「月桃の花歌舞団」と大阪行動の仲間も駆けつけてくれました。また今回はジュゴンが2頭登場しました。ほったには、「ジュゴンタトゥー」(フェイスペインティングのシール)を貼りつけて出発です。

最初は照れがありましたが、慣れると快感に!また、プラバンジュゴンには県民大会の新聞記事を貼ってアピールしました。大阪駅前、京橋駅前、天王寺駅前の3か所で降りて街頭署名をしました。署名の集まりがよく、若い人の関心が高いのを感じました。

「本部町出身です。本土で沖縄のことを考えてくれていてうれしい」という沖縄出身の学生さんにも出会いました。駅から駅への移動中は、ホームや車内に「たたずんで」アピールしました。ホームにならんで向かいのホームの電車の乗客に手を振ったりします。「辺野古のことや」「ジュゴンだあ〜」などホームを行き来する人からの言葉が聞こえます。「基地はどこにもいらない」「ジュゴンの保護区を」と楽しくアピールできたと思います。またやるよ! (松島洋介)

# 10月ジュゴン保護覚書国際会議に代表を派遣しましょう

## ☆代表派遣カンパのお願い

今年10月4日から6日まで、ジュゴン保護覚書国際会議がアラブ首長国連邦(アブダビ)で開催されます。移動性野生生物の保護に関する条約(ボン条約)はジュゴンの保全にとってジュゴン移動域の国々の協力が重要だとしています。2007年10月にジュゴン保護覚書の協議が終了し、現在12カ国が署名し、20数カ国が参加しています。日本の環境省は「ジュゴンと海草の広域的調査」(2001年度～2005年度 環境省・野生生物)の結果を関係国に還元することで、ジュゴンとその生息地の保全に共通の責任を負うべきです。

**覚書機構よりSDCCに対して、日本政府への参加の働きかけとSDCCのオブザーバー参加が呼び掛けられています。代表を派遣するためのカンパのご協力をお願いします。**



昨年のじゅごんの里ツアーにて

### ★今年も！ じゅごんの里ツアー募集開始！

今年もじゅごんの里ツアーの参加者募集が始まりました。7月2日～4日の2泊3日の行程です。

初日は名護の自然との共生をめざす稲嶺市長の表敬訪問を調整中。中日は、じゅごんの里の東恩納琢磨さんの案内で辺野古・大浦湾を船でめぐります。ゲート前のキャンドル行動や、地元の方たちと交流するバーベキューパーティーもありますよ。

最終日はヤンバルの森の散策もあって、山から海へつながる名護の自然の生態系を満喫できるメニューです。是非お友達をお誘いの上、ご参加下さい。詳しくは同封のチラシで。

### SDCC第10回総会報告

～方針・会計は別紙

2001年3月に結成してからはや10年目。4月17日夕方、渋谷勤労福祉会館で第10回総会を開催しました。前日の16日には防衛、環境、外務省交渉を行いました。

総会是对政府交渉の報告と普天間移設先をめぐる動きをふまえて、各地からの報告を受けました。署名を通じた世論の広がり、さらにキャンペーンを広げるための方針論議を深めました。

- ・5月末に環境大臣に3万筆の署名を提出する(第1次)。
  - ・7月2日から2泊3日でジュゴンの里ツアーを行い、名護市長を激励する。
  - ・ジュゴンの絵国際コンテストやジュゴン民話で海外NGOとネットワークを作り、
  - ・10月4日～6日ジュゴン保護覚書国際会議に参加する。
  - ・これらをふまえて、10月18日～29日生物多様性条約COP10(名古屋)に積極的に参加する。
- 以上の方針と決算予算案を承認して、代表・海勢頭豊、事務局長・蜷川義章、会計・矢敷克子、国際担当・吉川秀樹を再任しました。



### ★高槻本澄寺ライブ

6月6日、大阪は高槻市の本澄寺でジュゴンライブと題したイベントがもたれ、SDCCの海勢頭代表も出演します。琉球舞踊やエイサーなども登場するにぎやかなイベントです。

昨年の本澄寺ライブ

本澄寺は三好達治ゆかりのお寺でもあり、今回は達治の詩を歌曲にしたものの披露もあるようです。お近くの方は是非お誘い合わせの上、ご参加ください。

### Editor's Note

3月16日、国連人種差別撤廃委員会は、「沖縄への基地集中は人権の妨げ」との勧告を日本政府に対して出しました。負担のお願いが必要なら、先ず自らの地元を説得するのが順序ではないでしょうか。

(U)



4/25 県民大会にて

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL. 49 2010年3月16日発行  
 ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
 Tel/Fax 03-5228-1377 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2 1  
 第1千代田ビル301 なかま共同事務所内  
 ○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
 (関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302  
 TEL/FAX 06-6353-0514

